

研究タイトル:

利活用へ向けた歴史的建造物の適正評価



氏名: 清水隆宏 / SHIMIZU Takahiro E-mail: t-shimizu@gifu-nct.ac.jp

職名: 准教授 学位: 博士(工学)

所属学会・協会: 日本建築学会, 建築史学会, 日本インテリア学会, 都市史学会

キーワード: 伝統建築の保存, 設計技術, 歴史・文化

技術相談

提供可能技術:

- ・古典建築書(大工技術書), 建築に関連した郷土資料等の解説
- ・歴史的建造物の実測調査, 登録文化財への登録
- ・伝統建築の修理, 保存
- ・歴史的建造物の利活用へのプログラム作りと設計提案

研究内容:

歴史的建造物の適正評価

近年、国や都道府県などにおいて歴史を活かしたまちづくり、歴史的建造物の観光資源化などを考えることが増加している。

しかし、各地域において建築の歴史的・文化的価値が理解されずに埋もれていたり、そういった価値を所有者などが認識・選別できない場合も多い。

本研究では、特定の歴史的建造物やある地域における建築群について、(基本的には保存・利活用を前提として)特性を把握することを目的とした、状況に応じた実測調査など各種調査を行います。その後、専門知識を活用し意匠的特質・設計手法を分析することで、歴史的建造物としての価値を算定したり、保存・修復に役立てたりします。

具体的には、都道府県・市町村・地域・所有者など各者からの依頼に基づき、伝統建築の修理・保存へのアドバイス、町並み調査報告書の作成、登録文化財への登録について、歴史的建造物の利活用へのプログラム作りと設計提案、建築を通じた地域の魅力ある歴史・文化教育など、幅広い要望に対応いたします。



図1 史料に基づき作成した多宝塔の立・断面図



図2-3 歴史的建造物の例

提供可能な設備・機器:

名称・型番(メーカー)	
レーザー距離計	Leica DISTO D8
アクションカメラ	Kodak PIXPRO SP360